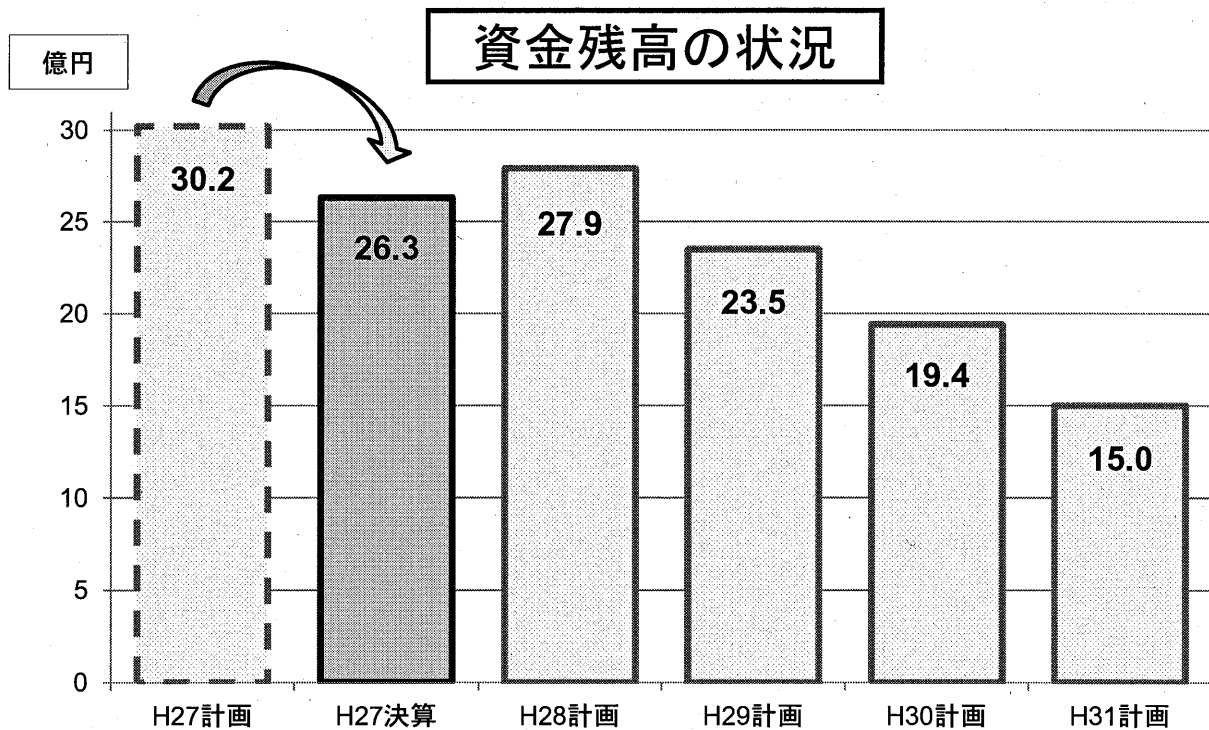


- ・ 過年度に水源開発事業からの利水撤退に係る多額の費用が生じたことや、平成27年度の収入が答申で見込んだ給水収益から減少したこと等により、繰越欠損金が平成27年度で10.1億円。
- ・ 平成27年度計画では10.7億円を見込んでいたが、経費削減等により0.6億円縮小。
- ・ 繰越欠損金を解消するための料金設定は行っていないが、経営努力により平成28年度から黒字化を目指し、繰越欠損金を削減。



- ・ 平成27年度は、改良事業費等の縮減に伴い消費税還付金が減少したことや、企業債借入の減等により、計画より資金残高が3.9億円減少。
- ・ 平成28年度以降も、修繕引当金の取り崩し等により資金残高は減少する見込み。